

## BP ADR(BP)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NYSE

## 【企業概要】

総合エネルギーの世界的大手の一角で、英国、米国を中心に70か国で事業を展開しています。18年12月期の部門別基調税前利益は上流部門が146億ドル（部門利益の構成比60%）、下流部門が76億ドル（同31%）、株式を20%弱保有するロシアのロスネフチ事業が23億ドル（同9%）です。18年12月期の石油換算生産量は日量3.68百万バレル、18年末の確認埋蔵量は199億バレルで、1万8,000軒超の小売店舗を展開しています。なお、業績表の1株あたりデータは1ADR（＝普通株6株）に対応する値です。

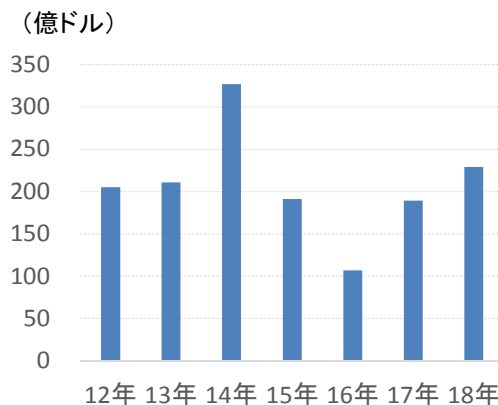
【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

| 決算期       | 売上高     | 純利益    | EPS  | DPS  | BPS  | ROE  | 自己資本比率 |
|-----------|---------|--------|------|------|------|------|--------|
| 17年12月期   | 240,208 | 10,160 | 3.12 | 2.40 | 29.8 | －    | 36.3   |
| 18年12月期   | 298,756 | 12,103 | 3.72 | 2.46 | 29.7 | 10.5 | 36.0   |
| 19年12月期予想 | 283,528 | 11,291 | 3.26 | 2.44 | 30.1 | 11.0 | －      |

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

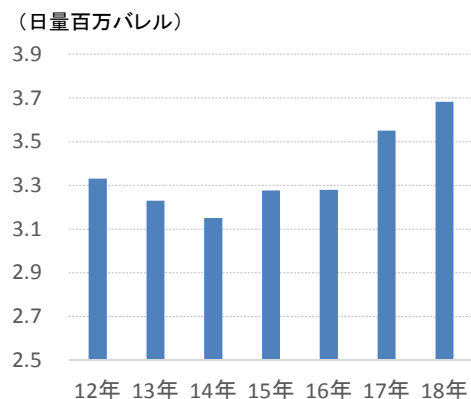
## 【主要指標】

図表1 営業キャッシュフロー



（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

図表2 石油製品生産量



（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

## 【会社の見方】

同社は改善しつつある営業キャッシュフローと資産売却による資金を上流部門への投資に回し、負債の削減を進める他の大手エネルギー企業に比べて楽観的な運営が行われていると言えます。2010年のメキシコ湾原油流出事故以来累計で670億ドルという巨額の関連損失（税前利益に対する影響額）を計上してきましたが、18年の関連支払い額は32億ドルまで縮小、19年は20億ドルへ減少見込みと、ほぼ終息と見て良さそうです。

## 【見通し・注目点】

石油の生産量を拡大できている点が注目できます（図表2）。18年は前年比3.7%増でしたが、資産売却などの影響を除いたオーガニックベースでは同8.2%と高い伸びとなっていました。18年にはエジプト、トリニダード・トバゴ、北海、オーストラリアなど7つのメジャープロジェクト（同社の定義で2.5億ドル以上の投資案件）を開業しており、これらの貢献で21年には日量90万バレルの生産増に寄与すると見込まれています。19年も5つのメジャープロジェクトの開業が計画されています。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 19/7/3）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。